

令和6年度テーマ展



彩の国  
埼玉県

# 児童文学 のなかの 戦争

令和7年

1月18日土～  
3月9日日

休館日 毎週月曜日

(2/24日は開館し、2/25日は休館となります。)

開館時間 9:00 ▶ 16:30

(入館は16:00まで)

入館料 無料



「われ等の陸海軍」(全改訂版)  
平田喜康(文) 大日本雄辯會講談社 昭和9年



紙芝居 『モリノエウチエン オペンタウ』 高橋五山(文)  
青木末男(絵) 全甲社紙芝居刊行会 昭和18年



「けんちゃんとしせんせい」 高木敏子(文)  
狩野ふきこ(絵) 金の星社 平成6年



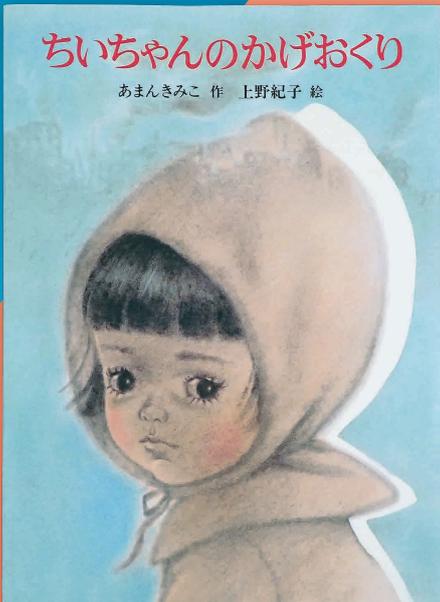
「ひろしまのピカ」 丸木俊(文・絵) 小峰書店 昭和55年



「街の赤ずきんたち」 大石真(文)  
鈴木義治(絵) 講談社 昭和52年 個人蔵



「へいわってどんなこと?」 浜田桂子(文・絵) 童心社 平成23年



「ちいちゃんのかげおくり」 あまきみこ(文) 上野紀子(絵)  
あかね書房 昭和57年



横浜の本屋で立ち読みをする子供たち 昭和14年 昭和館提供

埼玉ピースミュージアム

PEACE MUSEUM OF SAITAMA 埼玉県平和資料館



戦前・戦中期の児童文学は軍国主義的な作品が多く、少年少女に対し、戦争への協力を駆り立てるものでした。しかし、戦争が終結するとそれまでの戦争観が否定され、世の中の価値観が一変します。児童文学の世界でも、戦争の実態と意味を問うような作品が希求され、反戦や平和を主題とする作品が数多く生まれました。

今回の展示では、当館で所蔵する戦時中の資料や、戦後発表された埼玉県ゆかりの児童文学者による作品などを中心に、児童文学における戦争の描写が時代によってどのように変化し、子供たちにどのように戦争が伝えられてきたのかを紹介します。



「へいわってどんなこと？」原画 浜田桂子(画) 平成22年 個人蔵



「ひろしまのピカ」原画 丸木俊(画) 昭和55年 個人蔵



『君たちはどう生きるか』 ※版元品切れ  
山本有三・吉野源三郎(著) 新潮社 昭和12年  
白百合女子大学児童文化研究センター蔵



「一つの花」習作カット 中尾彰(画)  
昭和後期 豊島区蔵

期間中の事業

🖼️ ギャラリー展

- 「写真と絵でみる学童疎開」  
令和7年1月26日(日)まで
- 「写真展 比企丘陵の四季」  
令和7年2月18日(火)～  
3月23日(日)

🎻 チャリティピースコンサート

1月26日(日)

🗨️ 落語会

2月16日(日)

📖 朗読会

3月9日(日)

🎬 映画会

- 1月18日(土)・19日(日) 「Viva! 公務員」
- 1月25日(土) 「紅い櫻」
- 2月1日(土)・2日(日) 「マヤの一生」
- 2月8日(土)・9日(日) 「くちづけ」
- 2月15日(土) 「山河遥かなり」
- 2月22日(土)・23日(日・祝) 「昭和レトロニュース  
どこか懐かしい昭和の風景と生活」
- 3月1日(土)・2日(日) 「うしろの正面だあれ」
- 3月8日(土) 「ベトナムの風に吹かれて」

👤 戦争体験者証言ビデオ上映会

- 1月25日(土)
- 2月8日(土)・9日(日)
- 2月22日(土)・23日(日・祝)
- 3月8日(土)

交通案内

東武東上線高坂駅西口から「鳩山ニュータウン」行きバス  
8分乗車「大東文化大学」下車徒歩5分  
関越自動車道東松山I.C.から約15分/同鶴ヶ島I.C.から  
約25分/ETC積載車は同坂戸西スマートI.C.から約15分



埼玉ピースミュージアム

PEACE MUSEUM OF SAITAMA 埼玉県平和資料館  
〒355-0065 東松山市岩殿 241-113  
Tel. 0493-35-4111 Fax. 0493-35-4112



🕒 開館時間 9:00 ▶ 16:30 (入館は16:00まで)

📅 休館日 毎週月曜日 (月曜日が休日または県民の日の場合は開館、翌平日が休館)  
年末年始 (12月29日～1月3日)  
臨時開館、休館あり

🎫 入館料 無料

